

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 :グループホーム 大和

作成日 : 平成22年 3月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	なかなか地域に溶け込むことが出来ていない。町内会への参加をお願いしているが出来ていない。散歩などの途中での挨拶や近所の子供たちが遊びに来てくれたりしているが不十分であるとする。	地域との方々との交流を持つ。	地域の方々への「便り」の配布を継続する。また、運営推進会議への参加を近所の方に呼びかけ交流を持つ。	6ヶ月
2	4	運営推進会議への参加者が少ない。特に家族や地域の方。平日の開催では地域の方や家族の参加がない。	出来るだけ地域の方々に参加していただく。	地域の方々への「便り」の配布を継続する。また、運営推進会議への参加を近所の方に呼びかけ交流を持つ。「運営推進会議」という名称でなくもっと親しみやすい名前を考え、近所の方が参加しやすいようにする。	6ヶ月
3	49	大和では、本人及び家族が希望されれば終末期までケアさせていただきようにしており、入居者が高齢化・重度化されていっているため、外出できる方が少なくなっている。また、どうにか外出できても本人の苦痛になるのではないかと葛藤もある。どのようにこれから「外出」を捉えていくか。	外出できる方は、出来る限りでかける機会を増やす。難しい方には、その人に応じた外出に替わるものを探していく。そうして、気分転換を図っている。	外出可能な方は、個別で希望のところにお連れする。そのほかの方は、ドライブによる花見等にお連れする。また、花壇・花木の整備を行い車椅子で季節を感じていただく。	3ヶ月
4	33	先述のとおり、終末期までお世話させていただきようにしているので書類の整備等行っているが、急変時の対応方法をもう少し勉強する、また、その時に近づいてきている方に何が出来るかスタッフ間で悩むところである。	一人ひとりの状況をしっかり把握しておく。その上でその方に私たちスタッフが何が出来るかを考えていく。	その方に応じた対応方法をマニュアル化する。スタッフ全員に、入居者それぞれについて出来ることを文章で出してもらい特定のスタッフだけでなく全員で考える。それをミーティングで取りまとめる。	2ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。